

# 公共下水道工事の事故

## (株)碧南建設に、11カ月の入札参加停止

### 3件2億円の工事は続行

11月4日、市議会全員協議会で9月2日に発生した下水道工事事故について報告がありました。

市公共工事事故等調査委員会が9月9日、10月2日、10月23日の3回開かれ、2020年11月4日から2021年10月3日までの入札参加資格停止の処分が行われます。

(株)碧南建設が受注した3件の工事は、続行されることになりました。

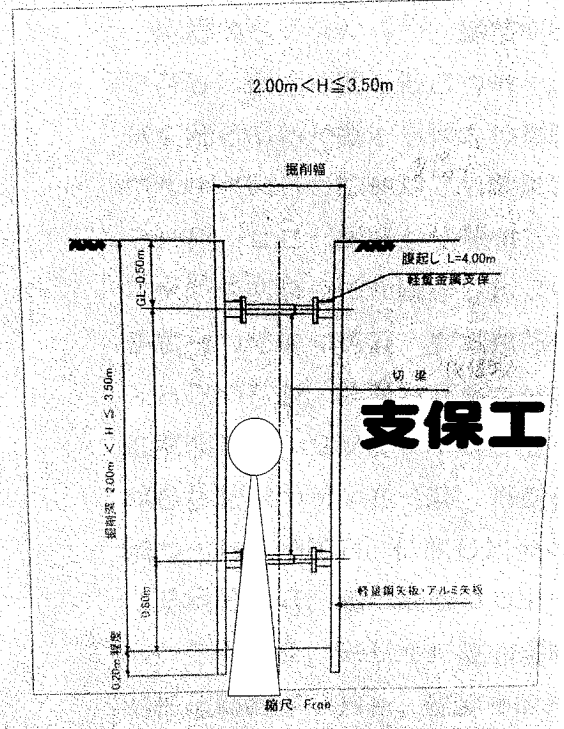
### 3カ月経過リハビリ中

負傷者は40代男性1人、左側頭部骨折及び脳内出血により意識不明の重体でした。その後意識は回復し、現在はリハビリ中、後遺症の有無は不明とのことですが、労災認定にはなるとの見込みですが、傷病手当や生活補償もない状態です。

### 虚偽記載、契約違反、安全管理措置の不適切

事故の直接原因は、元請け業者の配置した指揮責任者等3人が現場に不在、掘削と土留め工事で2・6mの掘削工事を一度に行い、基準では1・5m深さ以上は全面矢板が必須

アルミ矢板土留設置工標準断面図



なのに1枚飛ばしに、矢板を支える支保工が2段必要なのに1段しかされていませんでした。

### 下請届けなし技術者配置なし

負傷者は、1人親方状態で、下請け届は碧南建設から出されていません。「碧南建設」の社名入りのヘルメットをかぶっていたら判別できないと市側は言っています。こんなことが通るのなら、技術面も安全で確かな公共事業の補償が崩れます。

### 日本共産党「末端からの声把握できる市の信頼を」

日本共産党は「公契約条例の徹底のためには、上下関係の中で、働いている下請け業者や末端の労働者が市を信頼して告発できる関係構築が必要」と指摘しました。「安かろう悪かろう」の公共事業や、「公共事業で低賃金不安定雇用」を正す公契約条例の完全履行が必要です。そのためにも、市職員の専門性を引き上げること、軽々に移動させないことも市長に求めます。



## 無我苑で4日連続パフォーマンス

10月29日～11月1日まで、4日連続で内藤満里子「空間演出」のいのちのうつつかえりのパフォーマンスが開催されました。抹茶お菓子付きで前売り2300円。苑内の和室、庭、迷走回廊すべてを使って明かり、鳥取出身の内藤さんの梨の袋に豆電球を入れ赤い風車とともに芝生一面に演出がされました。最終日には、現代舞踏家 倉知可英さんとMineyoさんのアジアの楽器を使った演奏とともに踊りのパフォーマンスが。白い鳥のような衣装で誕生再生をイメージ、迷走回廊では真っ赤な衣装で一生の喜怒哀楽を表現されました。36年ぶりの、ハロウィンと輝く満月。偶然の花火の打ち上げも重なりました。ラストは、迷走回廊の階段下で踊る演者に夕焼けのオーバーラップ・・・こんなふうは無我苑を活用し、表現の舞台にされたのは初めてです。9条の会の故梅原 猛氏も「平和」を感じていただけただけでしょうか。



# 大阪都構想「市廃止」再び否決 市民の力で大阪市守り抜いた

## 赤ッ恥の維新・公明

大阪市の廃止・分割の是非を問う住民投票は、反対が多数となり、大阪市の存続が決まりました。

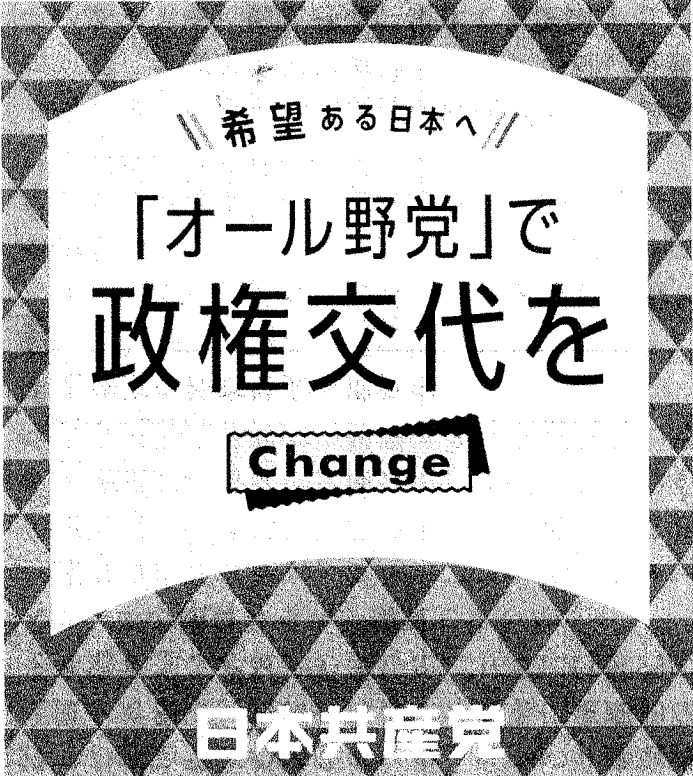
「大阪維新の会」が推進する「市廃止」都構想」案が否決されたのは、2015年の住民投票に続き2回目です。「大阪市をなくすな。守り生かそう」という市民の声が再び示されたことは、大きな意義があります。政令市として大阪が持つ力を存分に生かし、住民の福祉と暮らし向上に向けた取り組みを進める転機にする時です。

## 維新の野望を打ち破る

「都構想」は、維新の会が結党以来、中心政策に掲げてきました。大阪市を解体し、権限も財源も大阪府に吸い上げ、強い力を府知事に集中させ、やりたい放題の体制をつくろうという狙いでした。維新の野望を打ち破り、大阪市の未来を守り抜いたことは、市民の良識による歴史的な勝利です。

## 市民を分断

15年に否決の審判が下されていることに加え、新型コロナウイルスの感染拡大のもとで、市民の健康と暮らしを守るために党派を超えて力を合わせなければ



ならない時に、市民を二分する市廃止を持ち出し、住民投票を実施した維新のやり方も問われました。

## 住民サービス切り捨てノ

130年の歴史のある大阪市を廃止するか、存続するかは、住民のサービス水準にかかわる問題として、大きな議論になりました。多くの財源が府に持つていかれるため特別区の財政基盤は弱まります。大阪市が独自に実施していた「子ども医療費助成」「敬老バス」などの住民サービス切り捨ての危険が浮き彫りになりました。さらに、大阪市を分割した場合の行政コストが増大することを市財政局が試算していたことも報道され、大問題になりました。

## 広がる不信と不安

これに対し維新は、反対の意見などを「デマ」「誤報」などと決めつける攻撃を繰り返しました。それが新たな批判を招いて、防戦に追い込まれました。維新にとって都合の良い情報しか出さない姿勢には、市民から不信と不安が続出しました。「百害あって一利なし」の市廃止を強引に推し進めた維新の責任は重大です。

## 市民の真実を伝える運動

「明るい民主大阪府政をつくる会」、「大阪市をよくする会」、日本共産党をはじめとする真実を伝える宣伝は反響を呼び、市民の共同も急速に広がりました。

## 公明支持者の5割が反対

前回は反対した公明党は、維新に抱き込まれて、今回賛成に回りました。しかし、開票日のメディアの出口調査では、同党支持者の5割が反対に投票した結果も示されました。無党派層では反対が多数です。当初は「賛成が優勢」と伝わる中、短期間で追い上げ、逆転勝利を果たしたことは、大阪の明日を開く貴重な成果です。

**戦争法廃止  
改憲許すな19行動**  
11月19日 (木曜日)  
午前11時～12時  
ヤマナカ前にて

**日本共産党碧南市委員会**



市議会議員 市議会議員 市民運動部長  
山口はるみ 岡本守正 磯貝明彦  
☎42-8940 ☎41-5357 ☎48-2718  
三度山町 2-70-4 笹山町 6-29 若松町 3-253

**7つの提案**

- ケアに手厚い社会
- 人間らしく働ける労働のルールある社会
- 一人ひとりの学びを保障する社会
- 危機にゆとりをもって対応できる強い経済
- 科学を尊重し国民に信頼される政治が行われる社会
- 文化・芸術を大切に社会
- ジェンダー平等を実現する社会



**比例東海** 予定候補  
しまづ幸広=前衆院議員  
もとむら伸子=衆院議員  
長内史子=33歳

**市民と野党の共同で  
来る総選挙での政権交代を**